



令和5年度委員長所信表明

全日本教職員連盟 第15代委員長 前田 晴雄

結成40年！躍進の時！

～教育新時代への使命～

全日教連及び教文研会員の皆様におかれましては、令和5年度を新たな、そして大きな希望を胸にお迎えのことと存じます。昨年度に引き続き単位団体の皆様の御信任を賜り、全日教連委員長の大役を仰せつかることになりました。「美しい日本人の心を育てる」という我々の理念の実現に向けた取組の成果を示す1年となるよう、役員一同、一致団結し全力を挙げて職務を遂行する所存です。どうぞよろしく願いいたします。

いよいよ今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが2類相当から5類に引き下げられることになりました。既に4月からはマスクの着用を求めないという文部科学省の方針を含めた衛生管理マニュアルが適用され、新たなルールでの教育活動がスタートする等、大きな転換点を迎えていることと思います。とはいえ、コロナは完全に収束していないうえ、アフターコロナの新たな問題が起こることも予想されます。これまでの感染症対策と豊かな教

育活動の両立への御努力に対しまして、心より厚く御礼申し上げますとともに、どうか引き続き安心安全な学校運営のために御尽力いただけますようお願いいたします。

全日教連は昨年度より、子供たちと教職員、そして教育に携わる全ての人々の Well-being が実現できる教育環境の整備をめざし諸活動を展開してまいりました。この方向性は今、コンセンサスを得つつあり、教育環境の改善が国民全体の問題として認識され始めています。今年度は、いよいよアフターコロナ元年として、Well-being 実現のための環境整備を進める年としなければなりません。そのために、今年度も常に教育の最前線である学校現場の教職員の立場から、以下の点を重点として活動してまいります。

【要望・提言活動の充実】

全日教連の要望は「子供たちのために邁進する教職員の真の声」として受け止められ、コロナ禍において多くの要望が予算化されました。それは全日教連が良識ある教職員団体と認められている証です。

特に令和五年度予算においては、小学校高学年における教科担任制推進のための加配定数 950 人や、義務標準法に係る小学校第 4 学年の学級編制の標準引下げ 3,283 人を含む 4,808 人の定数改善が実

現しました。また、支援人材として学校現場から好評である教員業務支援員を前年比2,300増の12,950人が配置されたことも大きな成果です。今年度も基礎定数改善や加配定数の拡充、教員業務支援員や部活動支援員、また専門人材の配置促進等の人的支援策等を要望してまいります。

さらに、昨年度実施した教員勤務実態調査の結果の公表が5月に予定されておりますが、その結果公表を待たずして、現在教師の働き方及び処遇改善についての議論が盛んになっており、全日教連としても、ヒアリング等に招聘され要望をしてまいりました。この気運を逃さず、部活動地域移行も含めた働き方改革のより一層の進展及び給特法の改正による教職調整額の引上げを含めた処遇改善が実現するよう、引き続き国会議員や関係諸機関への働きかけを積極的に展開してまいります。

【質の高い研修の充実】

全日教連は、教職員は単なる労働者ではなく教育専門職であると位置付けています。従って我々は、国民の負託に応えるために、常に研鑽に励み、自らの資質・能力の向上に努めなければなりません。また、社会の急激な変化や教育課題の複雑化・多様化に対応するととも

に、子供たちが新時代を創造する力を身に付けさせるため、ますます高度な専門性が求められています。全日教連は教文研と連携し、校種や職種を超えて共に学び合い、研鑽を積むことができる研修の場をコロナ禍においても提供してまいりました。その結果として、特にICT 教育等の先端分野において全日教連・教文研会員による優れた研究や実践が積み重なっています。今年度も第40回教育研究全国大会（宮崎大会）では、大会主題を昨年度と同様「新しい価値を創造する力を育む教育実践～自らの考えを広げ深める子供の育成を通して～」とし、栃木大会の成果を踏まえた各分野での優れた実践発表及びコロナ禍収束により再開予定の質疑応答により研究を深めます。また昨年度同様、対面とWeb配信のハイブリッド開催等、万全の準備を行ってまいります。

【組織の強化・拡大】

全日教連は、日本の教育の発展にとって不可欠な教職員団体としての使命を担っています。それは、結成以来40年に亘り、教育に真摯に向かう諸先輩方が、現場の声を届け続けてきたことに他なりません。その歴史を我々がこれからも紡いで行くためには、1人でも多くの同志の力を結集する必要があります。全日教連は、各単位団体と

連携し、組織の強化・拡大を命題としてその方策を積極的に実行していきます。また、未組織地域において「美しい日本人の心を育てる」教育を広げるために立ち上げた「全日教連同志会」についても、引き続き周知・勧誘に努めてまいります。組織の強化・拡大には、現場の会員の方々のお声かけが不可欠です。全日教連の未来のため、より一層のお力添えをお願いいたします。

【各種団体との連携】

全日教連の活動に理解を示す教職員団体との連携及び交流を行い、「美しい日本人の心を育てる」という理念と教育正常化運動の輪を全国に広げます。また、教育正常化に対して関心をもつ団体や活動の方向性を同じくする教育文化関係団体及び有識者との情報交換を図り、全日教連に対する理解を更に深めてまいります。

今年度も全日教連は、誇り高く良識ある教職員団体としての活動を推進してまいります。この40周年を新たなスタートとして、教育新時代を、全日教連が教育の中心となって、主体的に創造していきましょう。

令和5年度も、会員の皆様方の御理解、御支援を賜りますよう、どうぞよろしくをお願いいたします。